

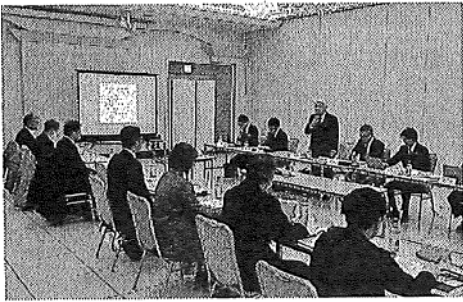
九州

九州支社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10番20号（K.C天神ビル東）
電話092・741・46005 FAX092・741・1732
kvsyuu@deca.co.jp

設計段階で3者協議を 建コン協九州、佐賀県に要望 ウェブ会議の積極活用も

建設コンサルタンツ協会
（建コン協）九州支部（田
中清支部長）は17日、佐賀
県との2024年度の意見
交換会を佐賀市内で開き、



写真、ウェブ会議の積極的な活用や設計段階での3者協議の導入などを要望した。県は24年度業務を対象に業務委託に関する表彰制度を開始すると説明した。意見交換は冒頭を除き非公開で行われた。建コン協によると、県に對する個別要望ではDX推進によるウェブ会議の積極的な活用と拡大、遠隔臨場の導入、情報共有システム（ASP）の活用などを求めた。

県はウェブ会議は導入環境は整っており、申し出があれば応じる考えを示した。遠隔臨場についても運用できるよう今後検討していくと応じた。ASPについては、23年8月に運用ガイドラインを改定し受注者希望型として行えるよう特記仕様書にも明記していると説明した。技術力による選定では、建コン協は佐賀県が総合評価方式による業務の発注が九州の中では最も多いとして評価した上で、受注者の構成割合などを分析し、より県内企業の技術力を高める方法を検討してほしいと要望した。表彰制度について、県は県内企業で業務委託評定点が80点以上の業務と管理技術者を表彰すると紹介した。品質の確保・向上では、宮崎県が行っている設計段階での発注者、設計者、施工関係者による3者協議の導入を要望。佐賀県は宮崎の事例を把握しており、今後検討していくと応じた。

担い手確保・育成のための環境整備では、県が県内企業を対象に資格取得に向

けた補助制度を導入していることを紹介。補助上限額は基本10万円だが、35歳までの若手は15万円、女性は20万円と上限額を引き上げ、若手・女性技術者の育成に取り組んでいると説明した。